

整形外科学

主任教授 吉田宗人

教授 谷口泰徳

講師 山田宏 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋

助教 西秀人 岩崎博 筒井俊二 宮崎展行 阿部唯一 中尾慎一 宮本選 谷口隆哉

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキンベック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
 - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
 - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
 - 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
 - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
 - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
 - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
 - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
 - パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
 - 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
 - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究
 - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
 - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
 - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
 - キンベック病に関する臨床的研究
 - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
 - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

a)学術

- 1 川上 守: 診療ガイドライン 24. 腰痛診療ガイドライン: 今日の治療指針 2014. 山口 徹, 北原光夫 福井次矢, 高木 誠, 小室一成, 医学書院, 東京 pp. 1902-1905, 2014
- 2 川上 守:III 腰痛の病態 臨床研究からみた病態 9 作業関連性腰痛: 菊地臣一, 医学書院, 東京 pp. 170-172, 2014
- 3 川上 守:VIII 臨床検査 菊地臣一, 医学書院, 東京, pp. 273-276, 2014
- 4 中川幸洋: 腰部脊柱管狭窄症・変性すべり症に対する内視鏡下除圧術. 「整形外科 Surgical Technique」メディカ出版, 大阪, Vol. 5, 4, pp24-34, 2014
- 5 河合将紀, 吉田宗人: 腰椎・仙椎 内視鏡手術 (後方) のアプローチ. 「整形外科サージカルアプローチ 体位から到達術野まで」井樋栄二・野原裕・松末吉隆編集, メジカルビュー社, 東京, pp. 270-280, 2014
- 6 Taniguchi W, Nakatsuka T : Chaptor31. Spinal synaptic plasticity in chronic pain. In : Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord, edited by Uchida K, Nakamura M, Ozawa H, Katoh S, Toyama Y, Springer Japan, Tokyo, pp387-398,2014
- 7 谷口亘, 中塚映政: 基礎編 A.基礎知識 12.痛みの研究手法-パッチクランプ法 痛みの Science &Practice シリーズ6 「痛み診療キーポイント」文光堂, 東京, PP.14, 2014
- 8 谷口亘, 中塚映政: 基礎編 C.脊髄 1.脊髄後角 痛みの Science &Practice シリーズ6 「痛み診療キーポイント」文光堂, 東京, PP.41, 2014
- 9 谷口亘, 中塚映政. 基礎編 D.脳 2.神経可塑性 痛みの Science &Practice シリーズ6 「痛み診療キーポイント」文光堂, 東京, PP.60, 2014
- 10 谷口亘, 中塚映政. 基礎編 D.脳 3.中枢性感作 痛みの Science &Practice シリーズ6 「痛み診療キーポイント」文光堂, 東京, PP.61, 2014

総説

- 1 川上 守:III-2 治療の進歩と課題 治療としての「動くこと」の重要性: 理学療法 magazine 1(1):71-78, 2014.
- 2 川上守: 術後遷延痛[テーマ②] 脊椎手術後疼痛症候群 (failed back surgery syndrome) : Practice of Pain Management 5(3): 22-26,2014.
- 3 山田 宏: 馬尾・神経根のイメージング -3次元MRI-. Bone Joint Nerve Vol.4 No2 2014, 241-245
- 4 山田 宏: Complication 維持透析患者における脊椎症のサージカルリスク. オルソタイムズ Vol.08.No01,p5, 2014
- 5 山田 宏: 私論 固定観念の打破. 雑誌整形外科 Vol.65.No10, p1048, 2014
- 6 橋爪 洋, 吉田 宗人. 【高齢者の骨・関節疾患-転倒予防に向けての取り組み-】 高齢者の主な骨・関節疾患の病態・診断・治療 脊柱管狭窄(症). 日本臨床 72 巻 10 号 Page1768-1772(2014.10)
- 7 橋爪 洋, 吉田 宗人. 【腰痛診療最前線】 腰痛治療最前線 腰痛に対する運動療法はどのように行うか. Modern Physician 34 巻 3 号 Page315-318(2014.03)
- 8 橋爪 洋, 吉村典子, 石元優々, 長田圭司, 阿久根徹, 山田 宏, 村木重之, 岡 敬之, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 シンポジウム「実地臨床に役立つ疫学知識」地域住民における頸髄圧迫、腰部脊柱管狭窄の有病率と身体所見の関係 -The Wakayama Spine Study. Journal of Spine Research 5: 1271-1275, 2014
- 9 南出晃人, 吉田宗人: ブラッシュアップ 関節鏡視下手術テクニック-腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡手術. MB Orthop. 27 (5): 220-226, 2014
- 10 南出晃人, 吉田宗人: 低侵襲脊椎手術の利点と問題点-中・長期成績からの検討 -腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術 LMEL (すべりを含む). 整・災外 57(3): 259-264, 2014
- 11 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 南出晃人, 岩崎博, 筒井俊二: 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下除圧術(CMEL). 整形・災害外科 57: 253-258, 2014

- 12 中川幸洋：頸椎疾患に対する内視鏡手術. *Monthly Book Orthopaedics* 27(5): 227-236, 2014
- 13 野村和教、吉田宗人：スポーツ傷害（外傷・障害）の画像診断—X線,CT,MRI,超音波— II.各論 コンタクトスポーツによる頸椎障害に関する文献的考察と画像診断. *関節外科* 33(4) 381-386, 2014
- 14 野村和教、吉田宗人：スポーツ選手の腰椎外側陥凹部の形状が発症に関係する腰椎椎間板ヘルニアの病態と治療. *腰部スポーツ障害診療マニュアル*. *MB Orthop.* 27(13): 43-48, 2014
- 15 宮本 選、川上 守、中尾慎一：特集 腰痛診療最前線、知っておきたい腰痛の知識 up date 4. 骨粗鬆症と腰痛, *Modern Physician* 34 (3): 265-269, 2014

原著

(受賞)

2013 Journal of Orthopaedic Science Best Paper Award (日本整形外科学会英文誌) Minamide A, Yoshida M, Maio K. The natural clinical course of lumbar spinal stenosis: a longitudinal cohort study over a minimum of 10 years. *J Orthop Sci* 2013; 18(5), 693-698.

1. 吉田 宗人：腰部脊柱管狭窄症 疫学、自然経過を踏まえた治療法の選択. *日本関節病学会誌* 33(3) Page353(2014)
2. 川上 守：脊椎外科臨床に基づく腰髄神経混成疼痛の基礎研究の再吟味: *J Spine Research* 5(3):413, 2014.
3. 川上 守、中尾慎一、石元優々、堀江佳代子、森下詔子、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎除圧固定術の腰椎機能障害の検討: *J Spine Research* 4(3):471, 2014.
4. 川上 守、中尾慎一、石元優々、北川智子、堀江佳代子、森下詔子、松岡淑子：腰椎除圧固定術で腰部脊柱管狭窄症患者の腰椎機能が改善するか？—JOABPEQを用いた過去起点前向き研究: *日整会誌* 88 (2):S187,2014.
5. Ando M, Tamaki T, Yoshida M, Sasaki S, Toge Y, Matsumoto T, Maio K, Sakata R, Fukui D, Kanno S, Nakagawa Y, Yamada H: Surgical site infection in spinal surgery: a comparative study between 2- octyl-cyanoacrylate and staples for wound closure. *Eur Spine J.* 2014.23:854–62.
6. 山田 宏、吉田宗人、筒井俊二、岩崎 博、岡田紗枝、岩橋弘樹：低侵襲脊椎椎体間固定システム (XLIF) による腰椎椎体間固定術の実際と初期導入時の問題点. *整形外* Vol.65 No.6 505-509, 2014
7. Yamada H, Terada M, Iwasaki H, Endo T, Okada M, Nakao S, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Tsutsui S, Oka H, Yoshida M. : Improved accuracy of diagnosis of lumbar intra and/or extra-foraminal stenosis by use of three-dimensional MR imaging: comparison with conventional MR imaging. *Journal of Orthopaedic Science* 2014
8. 橋爪 洋、紺野慎一、竹下克志、高橋和久、宮本雅史、松本守雄、笠井裕一、金森昌彦、松永俊二、細野 昇、寒竹 司、種市 洋、田中信弘、金山雅弘、清水敬親、川上 守：日本整形外科学会腰痛評価質問票 (JOABPEQ) 健常者基準値作成のための調査報告: *J Spine Research* 5(3):204, 2014.
9. Hashizume H, Yoshimura N, Nagata K, Miyazaki N, Ishimoto Y, Nishiyama R, Oka H, Yamada H, Yoshida M. Development and evaluation of a video exercise program for locomotive syndrome in the elderly. *Mod Rheumatol.* 2014 Mar;24(2):250-7.
10. Matsumoto T, Kawakami M, Ando M, Yoshida M : Rare case of survival after traumatic disruption of the cervical spine with combined complete spinal cord injury and bilateral vertebral arterial breakdown in an 18-month-old patient. : *Eur J Orthop Surg Traumatol.* 2014 Jul;24 Suppl 1:S311-4. doi: 10.1007/s00590-014-1462-8. Epub 2014 Apr 22.
11. 松本 卓二、安藤 宗治：四点支持器を使用した脊椎腹臥位手術における体圧と皮膚合併症の検討. *日本脊髄障害医学会雑誌* 27(1) : 154-155, 2014
12. 松本 卓二、安藤 宗治、峠 康、坂田 亮介、佐々木 俊二：生活習慣病である糖尿病における大腿骨近位部骨折患者の骨折型の検討とHbA1cおよび空腹時血糖の比較検討. *中部日本整形外科災害外科学会雑誌* 57(1) 125-126, 2014

13. 松本 卓二, 西山 大介, 寺口 真年, 浜崎 広洋 : 経験と考察 大腿骨転子部骨折 AO 分類 31-A1,A2 における遠位横止めを行わない long nail の使用経験. 整形外科 65(2):117-120, 2014
14. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Nakagawa Y, Hashizume H, Iwasaki H, Tsutsui S : Clinical Outcomes after Microendoscopic Laminotomy for Lumbar Spinal Stenosis: A 5-year Follow-up Study. Eur Spine J. Epub 2014 Oct 24
15. 南出 晃人, 吉田 宗人, 須佐 忠史, 徳丸 弘, 岩崎 一夫 : 骨粗鬆症性脊椎椎圧迫骨折に対する Balloon Kyphoplasty(BKP) 術後に発生した再椎体骨折の経験. 和歌山医学 65(3): 109, 2014
16. 南出 晃人, 吉田 宗人, 岡田 基宏, 野村 和教, 麻殖生 和博 : スポーツ選手の腰痛治療:現状と未来 若年期スポーツ選手の腰椎椎体終板障害に対する脊椎内視鏡下手術の有用性. JOSKAS 39(4): 361, 2014
17. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二, 岡田 基宏, 岡田 紗枝 : 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績 不安定性有無別からの評価. J Spine Res 5(3): 219, 2014
18. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二 : 変性すべり症 固定 V.S.除圧 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の適応と臨床成績. J Spine Res 5(3): 188, 2014
19. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 岩崎 博 : 不安定性を有する腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績. 中部整災誌 57 春季学会: 114, 2014
20. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 岩崎 博, 筒井 俊二, 岡田 紗枝 : 不安定性を有する腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績. 日整会誌 88(2): S169, 2014
21. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 岩崎博, 筒井俊二 : 頸髄症 : 後方派. Journal of Spine Research, vol.5, No.3, 406
22. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦 : 頸部脊髄症に対する後方内視鏡下手術(CMEL)後に生じる C5 麻痺の原因と対策. 日整会誌 S749, 2014
23. 河合 将紀, 吉田 宗人, 野村 和教, 中尾 慎一, 岡田 基弘, 中村 陽介, 矢渡 健一 : 腰部脊柱管狭窄症多椎間病変に対する両側同時内視鏡下椎弓切除術の中期成績. Journal of Spine Research 5(3) Page447(2014)
24. Iwasaki H, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Tsutsui S : A new electrophysiological method for the diagnosis of extraforaminal stenosis at L5-S1. Asian Spine Journal8(2): 145-149, 2014.
25. 岩崎 博, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人 : バイポーラー型凝固鑷子を利用した腰椎椎間孔部狭窄症に対する術中電気生理学的診断法. 中部整災誌 57(2): 233-234, 2014
26. 岩崎 博, 宮崎展行, 阿部唯一, 谷口隆哉, 峰巨, 吉田宗人 : 経頭蓋電気刺激筋誘発電位を用いた人工股関節置換術中神経モニタリングの注意点 一整備前後における振幅変化に関して一. 中部整形災誌 57: 1113-1114, 2014
27. Nomura K, Yoshida M, Kawai M, Okada M, Nakao S: A Novel Microendoscopically Assisted Approach for the Treatment of Recurrent Lumbar Disc Herniation: Transosseous Discectomy Surgery. J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg 75(3) 183-188, 2014
28. 野村和教, 吉田宗人, 河合将紀, 中村陽介, 矢渡健一 : 腰椎再発ヘルニアに対する内視鏡下経骨的椎間板再摘出術. J. Spine Res 5(8) 1238-1242, 2014
29. Tsutsui S, Iwasaki H, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Yoshida M. Augmentation of motor evoked potentials using multi-train transcranial electrical stimulation in intraoperative neurophysiologic monitoring during spinal surgery. J Clin Monit Comput. 2014 Feb 16. [Epub ahead of print]
30. 高見正成, 長田圭司, 吉田宗人 : Slot-scan digital radiography による正常日本人における脊椎矢状面アライメントの測定. Journal of Spine Research 1(3)593, 2014
31. 高見正成, 長田圭司, 岩田勝栄, 金川建彦, 久保井勇樹, 石口明 : Slot-scan digital radiography による正常日本人における脊椎矢状面アライメントの測定. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 57 (2) 237-238, 2014

32. Takami M, Yamada H, Nohda K, Yoshida M. A minimally invasive surgery combining temporary percutaneous pedicle screw fixation without fusion and vertebroplasty with transpedicular intracorporeal hydroxyapatite blocks grafting for fresh thoracolumbar burst fractures: prospective study. *Eur J Orthop Surg Traumatol*. 2014 Jul;24 Suppl 1:159-65. doi: 10.1007/s00590-013-1266-2. Epub 2013 Jul 5
33. Takami M, Nohda K, Sakanaka J, Nakamura M, Yoshida M. Usefulness of full spine computed tomography in cases of high-energy trauma: a prospective study. *Eur J Orthop Surg Traumatol*. 2014 Jul;24 Suppl 1:167-71. doi:10.1007/s00590-013-1268-0. Epub 2013 Jul 6.
34. Enyo Y, Yamada H, Kim JH, Yoshida M, Hutton WC : Microendoscopic lateral decompression for lumbar foraminal stenosis: a biomechanical study. *J Spinal Disord Tech*. 27(5): 257-62, 2014
35. 中尾慎一, 川上 守, 石元優々: 脊椎内視鏡手術の成績不良例に対する再手術の検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 57(4): 717-718, 2014
36. 中尾慎一, 川上 守, 石元優々: 第5腰椎脊髄神経椎間孔外病変に対する浅腓骨神経、腓腹神経を利用した総合的評価. *J Spine Research* 4(3):213, 2014.
37. 宮本 選, 中尾慎一, 石元優々, 福井大輔, 川上 守 : 脊柱変形を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する除圧矯正固定術後椎間板ヘルニアによる下肢麻痺を呈した1例. 中部整災誌 pp. 57:61-62, 2014
38. 木岡 雅彦, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出 晃人, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二, 岡田 基弘, 岡田 紗枝, 寺口 真年, 籠谷 良平 : Navigation guide 下脊椎内視鏡手術と術前シミュレーションシステムの開発. *Journal of Spine Research* 5(3) Page216(2014)
39. Taniguchi W, Nishio N, Yamanaka M, Kiyoyuki Y, Sonekatsu M, Yoshida M, Nakatsuka T : TRPV1 channels induce Knee osteoarthritis pain -in vivo patch-clamp analysis-. *Pain Res* 29: 171-179, 2014
40. 石元優々, 川上 守, 中尾慎一, 喜多 彬, 松岡 淑子 : 脊椎手術におけるJ-VAC ドレーン設置の注意点 黒点の意義についての考察. *臨床整形外科* 49(12) 1065-1069, 2014
41. 石元優々, 川上 守, 中尾慎一, 北川智子, 森下詔子, 松岡淑子: 術前の各種心理評価は腰椎術後成績に影響するの?: 中部整災誌.
42. 福井 大輔, 佐々木 俊二, 安藤 宗治, 峠 康, 松本 卓二, 坂田 亮介 : 踵骨アキレス腱付着部裂離骨折に対し suture bridge 法を用い手術を施行した1例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 57(4) 907-908, 2014
43. 福井 大輔, 佐々木 俊二, 安藤 宗治, 峠 康, 松本 卓二, 坂田 亮介, 神埜 聖治, 井口 公平, 玉井 英伸: 腓骨筋腱脱臼を伴った距骨外側突起骨折の1例. *和歌山医学* 65(3) 112, 2014
44. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人 : 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後に発生した長母指屈筋腱皮下断裂の3例. 中部整災誌 57:643-644, 2014
45. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 神藤一紀, 吉田宗人 : 野球選手に発生した伴走静脈による肘部管症候群の1例. *整形外科*. 65:1343-1345, 2014
46. 神埜 聖治, 安藤 宗治, 松本 卓二, 坂田 亮介, 宮本 選, 山中学, 佐々木 俊二, 松本 朋子, 峠 康: 経椎間孔進入による椎体間固定術(TLIF)後に非進入側の神経根障害が生じた1例. *和歌山医学* 65(3) 99, 2014
47. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Minamide A, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Takiguchi N, Akune T, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshida M : Prevalence and distribution of intervertebral disc degeneration over the entire spine in a population-based cohort: the Wakayama Spine Study. *Osteoarthritis Cartilage*, 22 (1) : 104-110, 2014
48. Teraguchi M, Yamada H, Yoshida M, Nakayama Y, Kondo T, Ito H, Terada M, Kaneoke Y : Contrast enrichment of spinal cord MR imaging using a ratio of T1-weighted and T2-weighted signals. *Journal of Magnetic Resonance Imaging*, 40 (5) : 1199-1207, 2014

49. 井口 智揮, 中川 幸洋, 吉田 宗人 : 頸部外傷・障害からのスポーツ復帰 頸部スポーツ外傷・障害からのスポーツ復帰についてコンセンサスを得る アスリートに対する頸椎内視鏡手術とスポーツ復帰. 日本整形外科学会雑誌, 34(4) Page540(2014)
50. Nishio N, Taniguchi W, Miyake Y, Kiyoyuki Y, Yamanaka M, Sonekatsu M, Abe T, Takiguchi N, Yoshida M, Nakatsuka T : A role of CGRP on excitatory synaptic transmission in spinal substantia gelatinosa neurons. The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord 35: 10-15, 2014,
51. Tanaka N, Konno S, Takeshita T, Fukui M, Takahashi K, Chiba K, Miyamoto M, Matsumoto M, Kasai Y, Kanamori M, Matsunaga S, Hosono N, Kanchiku T, Taneichi H, Hashizume H, Kanayama M, Shimizu T, Kawakami M: An outcome measure for patients with cervical myelopathy: the Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire (JOABPEQ): an average score of healthy volunteers: J Orthop Science 19(1):33-48,2014.
52. 吉田隆紀, 中尾慎一、石元優々、川上 守: 脊椎疾患における脳由来神経栄養因子と多面的評価の関連性について: 中部整災誌 57:1127-1128, 2014.
53. 北川智子、川上 守、中尾慎一、石元優々、森下詳子、堀江佳代子: 腰椎手術患者の術前心理評価に何が必要か?: 中部整災誌 57:1153-1154,2014.
54. 田中信弘、紺野慎一、竹下克志、川上 守、高橋和久、宮本雅史、松本守雄、笠井裕一、金森昌彦、松永俊二、細野 昇、寒竹 司、種市 洋、橋爪 洋、金山雅弘、清水敬親: 日本整形外科学会頸部脊髄症評価質問票 (JOACMEQ) 健常者基準値作成のための調査報告: J Spine Research 5(3):204, 2014.
55. 森下詔子、田所真紀、北川智子、松岡淑子、堀江佳代子、石元優々、中尾慎一、川上 守: 和歌山県紀北地方の介護職、看護師の腰痛保有者に比較検討: J Spine Research 4(3):540, 2014.
56. 宮城正行、大鳥精司、石川哲大、鴨田博人、井上 玄、山内かづ代、折田純久、鈴木 都、佐久間詳浩、久保田 剛、及川泰宏、稲毛一秀、西能 健、佐藤 淳、川上 守、高橋和久: 椎間板性腰痛の基礎研究から導かれた新規薬物治療戦略: J Spine Research 4(3):540, 2014.
57. 峯玉賢和、川上守、中尾慎一、石元優々、福井大輔、北川智子、三宅隆広、左近奈菜、松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症患者における仮面うつの特徴: Pain Research 29(2): 109,2014.
58. 森下詔子、田中治美、松岡淑子、石元優々、川上 守: ウォーターレス法は脊椎手術の術後感染に影響するか? : 中部整災誌.
59. Kobayashi S, Matsuyama Y, Shinomiya K, Kawabata S, Ando M, Kanchiku T, Saito T, Takahashi M, Ito Z, Muramoto A, Fujiwara Y, Kida K, Yamada K, Wada K, Yamamoto N, Satomi K, Tani T: A new alarm point of transcranial electrical stimulation motor evoked potentials for intraoperative spinal cord monitoring: a prospective multicenter study from the Spinal Cord Monitoring Working Group of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research. J Neurosurg Spine. 2014.20:102-7.
60. 榊原 紀彦, 笠井 裕一, 紺野 慎一, 高橋 和久, 千葉 一裕, 福井 充, 宮本 雅史, 種市 洋, 加藤 圭彦, 金森 昌彦, 金山 雅弘, 細野 昇, 竹下 克志, 田中 信弘, 橋爪 洋, 松永 俊二, 川上 守. 日本整形外科学会腰痛評価質問票(JOABPEQ)、日本整形外科学会頸髄症評価質問票 (JOACMEQ) の認知度調査. Journal of Spine Research4 巻 9 号 Page1388-1392(2013.09)
61. Tanaka N, Konno S, Takeshita K, Fukui M, Takahashi K, Chiba K, Miyamoto M, Matsumoto M, Kasai Y, Kanamori M, Matsunaga S, Hosono N, Kanchiku T, Taneichi H, Hashizume H, Kanayama M, Shimizu T, Kawakami M. An outcome measure for patients with cervical myelopathy: the Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire (JOACMEQ): an average score of healthy volunteers. J Orthop Sci. 2014 Jan;19(1):33-48. (平成 26 年度 JOS Best Paper Award 受賞)

62. Yoshimura N, Nagata K, Muraki S, Oka H, Yoshida M, Enyo Y, Kagotani R, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Teraguchi M, Tanaka S, Kawaguchi H, Toyama Y, Nakamura K, Akune T. Prevalence and progression of radiographic ossification of the posterior longitudinal ligament and associated factors in the Japanese population: a 3-year follow-up of the ROAD study. *Osteoporos Int.* 2014 Mar;25(3):1089-98.
63. 笠智就, 藤本徹, 瀬井章, 谷脇琢也, 岡田龍哉, 田畑聖吾, 水田博志, 河合将紀. 腰椎分離すべり症に対し内視鏡視下分離部除圧術を行った1例, *整形外科と災害外科*, 63 : (1)95-98, 2014
64. Park DK, Rhee JM, Kim SS, Enyo Y, Yoshioka K : Do CT scans overestimate the fusion rate after anterior cervical discectomy and fusion? *J Spinal Disord Tech.*28(2):41-6, 2015
65. Nishida K, Matsumura S, Taniguchi W, Uta D, Furue H, Ito S : Three-dimensional distribution of sensory stimulation-evoked neuronal activity of spinal dorsal horn neurons analyzed by in vivo calcium imaging. *PLoS One* 9:e103321, 2014
66. Matsuo H, Uchida K, Nakajima H, Guerrero AR, Watanabe S, Takeura N, Sugita D, Shimada S, Nakatsuka T, Baba H. Early transcutaneous electrical nerve stimulation reduces hyperalgesia and decreases activation of spinal glial cells in mice with neuropathic pain. *Pain Sep*;155(9):1888-901, 2014
67. 河野 通快, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出 晃人, 中川 幸洋, 柿丸 裕之, 松崎 雅彦, 内尾 祐司, 吉田 宗人:腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下片側侵入両側除圧術後の椎間板高の変化 棘突起間非温存術式との比較. *Journal of Spine Research* 5(3) Page199(2014)
68. 中村 陽介, 河合 将紀, 野村 和教, 矢渡 健一, 吉田 宗人, 岡田 基宏, 中尾 慎一 : 多椎間病変を有す腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎内視鏡下タンデム手術の短期成績. *Journal of Spine Research* 5(3) Page595(2014)

その他の論文 (症例報告等)

1. 谷口泰徳 : 専門医試験をめざす症例問題トレーニング, 手関節・手疾患 (外傷を含む) . *整形外科* 65:1091-1094, 2014
2. 川上 守: 和歌山県輝北地方の看護職員の腰痛実態調査についての研究 介護職員の腰痛実態調査についての研究 腰椎手術患者の術前心理評価法の必要性についての研究: 厚生労働科学研究費補助金、慢性の痛み対策研究事業「慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究 平成 25 年度 総括・分担研究報告書 pp 39-44, 2014.
3. 川上 守: 慢性腰下肢痛患者における心理的因子の評価に関する研究: 厚生労働科学研究費補助金、慢性の痛み対策研究事業「慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究 平成 23 年度～25 年度 総合研究報告書 : pp 45-50, 2014.
4. 安藤 宗治, 玉置 哲也, 松本 卓二, 麻殖生 和博, 福井 大輔, 吉田 宗人 : 脊椎手術における手術部位感染の検討 ステープルとダーマボンドを用いた創部閉鎖の比較. *Journal of Spine Research* 5(3) 317, 2014
5. 安藤 宗治, 玉置 哲也, 玉井 英伸, 神埜 聖治, 福井 大輔, 坂田 亮介, 麻殖生 和博, 松本 卓二, 峠 康, 佐々木 俊二, 吉田 宗人 : 脊椎手術における手術部位感染の検討 ステープルとダーマボンドを用いた創部閉鎖の比較. *日本整形外科学会雑誌* 88(3) 971, 2014
6. 松本 卓二, 峠 康 : びまん性脊椎骨増殖症に伴う胸腰椎脊椎骨折に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた低侵襲固定術の検討. *骨折* 36 巻 Suppl. PageS136, 2014
7. 松本 卓二, 安藤 宗治, 麻殖生 和博, 峠 康, 佐々木 俊二 : 生活習慣病である糖尿病における大腿骨近位部骨折のリスク 糖尿病患者における年齢、骨折型の検討と HbA1c および空腹時血糖の比較. *日本整形外科学会雑誌* 88(3) 694, 2014
8. 福井 大輔, 安藤 宗治, 峠 康, 松本 卓二, 麻殖生 和博, 坂田 亮介, 玉井 英伸, 佐々木 俊二 : 当院におけるびまん性特発性骨増殖症に発症した脊椎骨折の治療戦略. *Journal of Spine Research* 5(3) 509, 2014
9. 福井 大輔, 佐々木 俊二, 峠 康, 松本 卓二, 麻殖生 和博, 坂田 亮介 : 踵骨アキレス腱付着部裂離骨折に対し suture bridging 法を用い治療を行った1例. *中部日本整形外科学会災害外科学会雑誌* 57 巻 139, 2014

10. 曾根勝真弓, 松崎交作, 山崎 悟, 中谷匡登, 岩橋弘樹, 吉田宗人: THA 後の反復性脱臼に対し、前方アプローチによる cup revision THA を行った 2 例. 中部整形外科災害外科学会雑誌 56 (6): 1467-1468
11. 曾根勝真弓, 岩崎 博, 宮崎展行, 阿部唯一, 吉田宗人: 人工股関節置換術中にレトラクターによると思われる経頭蓋電気刺激筋誘発電位の振幅低下を認めた 2 例. 整形外科 65(13): 1346-1350, 2014
12. 曾根勝真弓, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 谷口隆哉, 峰 巨, 三宅悠介, 岩橋弘樹, 神藤一紀, 吉田宗人: 側臥位 THA における骨盤傾斜の傾向. 人工関節学会誌 44: 247-248
13. 玉井 英伸, 松本 卓二, 安藤 宗治, 坂田 亮介, 佐々木 俊二: アルカプトン尿症性関節炎を伴った脊椎症の一例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 57 巻 169, 2014
14. 西井 佑介: 第三骨片を有する踵骨嘴状骨折に対して観血的整復内固定術を行った 1 例 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 57 巻 4 号 Page905-906, 2014

学会報告

a) 国際学会

1. Yoshida M: Clinical diagnosis and surgical strategy for lumbar foraminal stenosis. The 31th Spring Congress Korean Society of Spine Surgery. Songdo Convensia, Incheon, Korea, May 22-24 (2014)
2. Yoshida M: Microendoscopic laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy. The 31th Spring Congress Korean Society of Spine Surgery. Songdo Convensia, Incheon, Korea, May 22-24 (2014)
3. Yoshida M: Advancement from microendoscopic discectomy to posterior endoscopic. decompression surgery over the past 15 years. The 14th Annual Meeting of the PASMIS-2014 Park View Hotel, Hualien, Taiwan, August 14-16(2014)
4. Kawakami M, Nakao S, Ishimoto Y, Kitagawa T, Horie K, Morishita S, Matsuoka T: Lumbar spine dysfunction after decompression and spine fusion for patients with lumbar spinal stenosis: The XXVI SICOT Triennial World Congress, Société Internationale de Chirurgie Orthopédique et de Traumatologie (SICOT) 2014.11, Rio de Janeiro, Brazil
5. Ando M, Tamaki T, Matsumoto T, Maio K: The pitfall of intraoperative spinal cord motor function monitoring. 26th SICOT triennial world congress, Nov 2014 Rio de Janeiro, Brazil
6. Ando M, Tamaki T, Yamada H, Matsumoto T, Maio K, Yoshida M: A comparative study between 2- octyl-cyanoacrylate and staples for wound closure of spinal surgery on surgical site infection. 26th SICOT triennial world congress, Nov 2014 Rio de Janeiro, Brazil
7. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S: Adult spinal deformity in the elderly treated by minimally invasive spinal surgery. The 24th Japanese-Korean combined orthopaedic symposium, 2014.6.6 Hakone-machi, Kanagawa, Japan
8. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S: Adult spinal deformity in the elderly treated by XLIF and PPS. The 14th Annual Meeting of Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery Hualien, Taiwan 2014.8.16
9. Hashizume H, Teraguchi M, Yoshimura N, Ishimoto Y, Nagata K, Akune T, Oka H, Muraki S, Yamada H, Yoshida M. Associated factors of intervertebral disc degeneration –Current results from a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. World Forum for Spine Research 2014, May 15-17, 2014, Xian, China
10. Hashizume H, Yamada H, Oka H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M. Low Back Pain Intensity in Lumbar Spinal Stenosis Measured by Using the Japanese Orthopaedic Association Score and the Visual Analogue Scale -Distribution, Responsiveness to the Surgery and Correlation Between the Two Measurements. International Society for the Study of Lumbar Spine Annual Meeting, June 3-7, 2014, Seoul, Korea
11. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S. Efficacy of minimally invasive surgery for elderly patients with cervical myelopathy -A novel endoscope-assisted cervical spinal decompression surgery. 5th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section. April 3-5, 2014. Saigon – Ho Chi Minh City, Viet Nam.

12. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada S. Clinical outcomes of endoscope-assisted spinal decompression surgery for degenerative lumbar spondylolisthesis with spinal instability. 41st Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. June 3 - 7, 2014, Seoul, South Korea.
13. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S. Clinical outcomes of endoscope-assisted Spinal decompression surgery for lumbar spinal stenosis: A 5-year follow-up study. EroSpine Annual Meeting. October 1-3, 2014, Lyon, France.
14. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S: Perioperative complications associated with cervical microendoscopic foraminotomy (CMEF) and its solution. Society for Minimally Invasive Spine Surgery (SMISS) global forum 2014, September 19-21, 2014, Miami, USA
15. Kawai M : Tandem lumbar microendoscopic laminotomy (tandem L-MEL) for multiple lesions of lumbar central canal stenosis, The 7th MISS Summit Forum, 2014.3.1, Aichi Spine Institute, Aichi
16. Yamazaki S, Matsuzaki K, Nishiyama D, Harada T, Sonekatsu M: Two Incision Total Hip Arthroplasty: Our Technique And Clinical Results. XXVI SICOT Triennial World Congress, 2014.11 Rio de Janeiro, Brazil
17. Tsutsui S, Iwasaki H, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Yoshida M: Improvement of Motor Evoked Potential Responses Using Novel Transcranial Electrical Stimulation Technique in Intraoperative Neurophysiologic Monitoring during Spinal Deformity Surgery: Multi-Train Stimulation. 49th Scoliosis Research Society, Anchorage, Alaska, USA, 2014
18. Teraguchi M, Hashizume H, Yamada H, Muraki S, Yoshimura N, Yoshida M : Association between endplate signal change and Schmorl's nodes with disc degeneration in the lumbar region and low back pain in a population-based cohort in Japan: The Wakayama Spine Study. International society for study of lumbar spine, 41th annual meeting 2014 6, Seoul, Korea
19. Yamanaka M, Taniguchi W, Sonekatsu M, Nishio N, Abe T, Mine N, Miyazaki N, Nakatsuka T, Yoshida M: In vivo patch-clamp analysis of the pain mechanism by TRPA1 and TRPM8 activation on substantia gelatinosa neurons in the spinal cord. 44th Annual Meeting of Society for Neuroscience, 2014.11.15-19, Washington, D.C.

b) シンポジウム, 学術講演等

1. 吉田宗人: 脊椎後方内視鏡下手術の進歩と治療戦略 第12回痛みと臨床フォーラム, 2014.2 大阪市
2. 吉田宗人: 腰部椎管狭窄症—疫学・自然経過を踏まえた治療法の選択 第81回慶大整形外科公開セミナー, 2014.3 東京都
3. 吉田宗人: 脊椎後方内視鏡下手術の進歩と治療戦略 第69回近畿脊髄外科研究会, 2014.4 吹田市
4. 吉田宗人: 世界のスーパードクターが語る 関西が切り開く日本の医療産業の未来 平成 26 年度関西経済同友会時事問題研究会 2014.4 大阪市
5. 吉田宗人: 腰部椎管狭窄症—疫学・自然経過を踏まえた治療法の選択 名古屋脊椎グループ学術講演会, 2014.7 名古屋市
6. 吉田宗人: 腰部椎管狭窄症—疫学と自然経過を踏まえた治療法の選択 運動器疼痛セミナー, 2014.8 名古屋市
7. 吉田宗人: 名医が語る最新内視鏡手術と日本・関西における医療産業の可能性 第27回三菱商事株式会社関西支社ネットワーク会議, 2014.9 大阪市
8. 吉田宗人: 腰部椎管狭窄症—疫学・自然経過を踏まえた治療法の選択 第42回日本関節病学会 虎ノ門ヒルズフォーラム 2014.11 東京都
9. 吉田宗人: 腰部椎管狭窄症—疫学と自然経過を踏まえた治療法の選択 第25回県央整形外科研究会 2014.11 厚木市
10. 谷口泰徳: 手術による医原性末梢神経損傷—明日は我が身の医療事故—第216回 新潟整形外科研究会 第21回 新潟手の外科研究会 2014.1.11、新潟市
11. 谷口泰徳、下江隆司、山中 学、辻本修平、浅井宣樹: 術後再発したガングリオンの外科的治療法の検討. 第57回日本形成外科学会総会・学術集会 2014.4.9、長崎
12. 川上 守: 腰の狭窄症の最新情報について 紀北健康講座 2014.1 かつらぎ町
13. 川上 守: 非特異的腰痛に対する薬物療法. 腰痛治療を考える～こんなとき、先生ならどうしますか?～2014.2 大阪市

14. 川上 守 慢性腰痛患者の診断と治療 - われわれ脊椎ケアセンターでの取り組み : 第 126 回北海道整形災害外科学会, 2014.2 札幌市
15. 川上 守 脊椎外科臨床に基づく腰髄神経根性疼痛の基礎研究の再吟味. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会 教育研修講演 2014.4 京都市
16. 川上 守 腰部脊柱管狭窄症に対するわれわれ脊椎ケアセンターの取り組みー心理評価から手術まで: 第 7 回秋田脊椎脊髄病セミナー 特別講演2014.5
17. 川上 守 腰部脊柱管狭窄症に対する治療戦略ー脊椎ケアの立場から: 第 12 回横浜脊椎フォーラム 学術講演2014.6 横浜市
18. Kawakami M: Selective of surgery in MOB (Session: Lumbar degenerative) : AOSpine Advances Course Yokohama 2014.2014.9 横浜市
19. Kawakami M: Lumbar sacral fusion (Session: Adult spinal deformity) : AOSpine Advances Course Yokohama2014. 2014.9 横浜市
20. 川上 守 慢性腰痛患者に対するわれわれ脊椎ケアセンターの取り組み: 第 3 回 北摂疼痛セミナー (大阪医科大学根尾先生) 2014.10 大阪市
21. 川上 守 腰部脊柱管狭窄症に対する紀北分院脊椎ケアセンターの取り組み : 第 2 回佐世保疼痛研究会.2014.11 佐世保市
22. Kawakami M: Thoracic pyogenic spondylitis: AOSpine Advances Seminar 福岡 2014.11 福岡市
23. 川上 守 本当は怖い 腰痛の話 : 紀北健康出前講座 2014.12 橋下市
24. 山田 宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、岡田基宏、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹、岡 敬之 : 腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎内視鏡手術の腰痛改善効果. 第 22 回日本腰痛学会 2014.11.16 千葉市
25. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、中尾慎一、岡田紗枝 : 高齢者脊柱変形に対する M I S t. 第 17 回日本低侵襲脊椎外科学会 2014.11.29 神戸市
26. 山田 宏 : 腰椎椎間孔狭窄の診断と治療. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.19 京都市
27. 山田 宏 : 腰椎椎間孔狭窄に対する内視鏡下除圧術. 第 5 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー2014.6.21 和歌山市
28. 山田 宏 : 新しい腰椎椎間孔狭窄の画像診断法. 第 10 回信州整形・放射線科勉強会 2014.10.17, 松本市
29. 山田 宏 : XLIF の合併症とトラブルシューティング. XLIF Seminar 2014 2014.11.8 東京
30. 山田 宏 : 第 16 回脊椎内視鏡下手術・技術講習会 2014 2014.11.30 神戸市
31. 山田 宏 : 高齢者脊柱変形に対する治療戦略. 第 27 回鹿児島脊椎脊髄研究会 2014.12.6 鹿児島市
32. 橋爪 洋、吉村典子、石元優々、長田圭司、阿久根徹、山田 宏、村木重之、岡 敬之、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人. 地域住民における頸髄圧迫、腰部脊柱管狭窄の有病率と身体所見との関係-The Wakayama Spine Study. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.17-19 京都市
33. 橋爪 洋. 運動器疾患とその予防について. 平成 26 年度高齢者運動器疾患予防対策事業市町村担当者研修会. 2014.12.12 田辺市
34. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪 洋、中川幸洋、西 秀人、岩崎博、筒井俊二. 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の適応と臨床成績. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会. 2014. 4. 17-19. 京都市 〈ダイバート〉
35. 南出晃人、吉田宗人、岡田基宏、野村和教、麻殖生和博. スポーツ選手の腰痛治療 : 現状と未来 若年期スポーツ選手の腰椎椎体終板障害に対する脊椎内視鏡下除圧術の有用性. 第 6 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2014. 7.24-26. 広島市
36. Akihito Minamide : Instructional Course Lecture
19th Cervical Spinal Research Society Instructional Course Lecture Surgical Technique - Posterior Cervical Foraminotomy. 2014. 12. 3. Orlando, FL, USA.
37. 南出晃人 : 腰痛ガイドラインに沿った薬剤の使い分け. 泉州運動器セミナー. 2014. 1.24. 泉佐野 (大阪)
38. 南出晃人 : 低侵襲椎弓根スクリュー挿入手技 CBT. 脊椎内視鏡/脊椎手術 cadaver seminar 2014. 2014. 1.17. 和歌山県立医科大学内
39. 南出晃人 : 頸椎内視鏡手術のできることでと限界. 第 8 回 NSG 頸椎セミナー. 2014.2.8
40. 南出晃人 : 変性側弯を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する治療戦略-MED の立場から. 第 3 回 Debate on the Ring, NPO 兵庫脊椎脊髄病医療振興機構. 2014. 2. 15. 神戸
41. Minamide A : Spine Medical Education, Surgeon BioSkill Course. February17-22, 2014. Carlsbad, CA, USA
42. 南出晃人 : 頸椎疾患に対する内視鏡手術はどこまで可能か、その臨床成績. 脊椎カンファレンス in 大館. 2014.3.14.大館 (秋田)

43. 南出晃人：脊椎内視鏡手術から学んだ病態—脊椎変性疾患、第3回 JASA in Gunma. 2014.7.4.前橋（群馬）
 44. 南出晃人：腰椎変性すべり症に対する除圧術の成績と限界、そして最近の話題。札幌脊椎外科研究会(Sapporo Spinal Surgery Society, 4S セミナー) 2014.7.18. 札幌（北海道）
 45. 南出晃人：脊椎内視鏡手術がもたらす手術治療の変革—その適応と有用性。第2回金沢内視鏡低侵襲脊椎外科セミナー。2014.11.8. 金沢（石川）
 46. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一：頸椎疾患に対する内視鏡手術の応用と進歩。第20回日本最小侵襲整形外科学会 2014.11.14 宇都宮
 47. 中川幸洋：MEL（内視鏡椎弓切除）の手技の基本と応用。第12回脊椎脊髄病研修コース 2014.4.19、京都
 48. 中川幸洋：腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下ヘルニア摘出術（MED）のポイント。第5回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2014.6.21 和歌山市
 49. 中川幸洋：頸椎疾患における内視鏡手術の応用と合併症対策。第3回札幌脊椎外科研究会 2014.7.18 札幌
 50. 岩崎博、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、筒井俊二：ディベート3：腰部脊柱管狭窄症 選択除圧派。日本脊椎脊髄病学会 第43回学術集会, 2014.4. 京都
 51. 宮崎展行：Knotless Suturing! ～整形外科領域における Barbed Suture ～人工股関節置換術における barbed suture. 第44回日本人工関節学会。2014.2.21-22, 宜野湾市
 52. 宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 曾根勝真弓 吉田宗人：TKA における術前期待度と術後満足度。第44回日本人工関節学会。2014.2.21-22, 宜野湾市（パネルディスカッション）
 53. 宮崎展行：TKAにおける大腿骨コンポーネント矢状面アライメント。Great Expectations 2014 Stryker Japan Hip &Knee Symposium, 2014.3.21-22, 東京
 54. 宮崎展行：大腿骨近位部骨欠損に対して IBG を行った1例。Exeter Seminar in Kansai.2014.4.18, 大阪市
 55. 宮崎展行：セメント使用による再置換術を学ぼう。症例—大腿骨側骨欠損。第14回 Exeter Hip Symposium. 2014.4.19, 東京
 56. 宮崎展行：なぜ膝が痛むの？ 市民公開講座 「運動器の10年・骨と関節の日」記念事業 2014.7.5, 和歌山市
 57. 宮崎展行：THA 術後の満足度調査と疼痛管理について。第1回 Hybrid THA を語る会, 2014.10.4, 名古屋
 58. 宮崎展行：TKA の満足度に影響を与える術前術後因子。第3回 Tokyo Knee & Hip Forum, 2014.11.25, 東京
 59. 下江隆司, 土井一輝, 服部泰典, 坂本相哲：外傷性全型腕神経叢損傷における再建法による機能および術後 QOL改善の検討—神経移行術, single muscle transfer, double muscle transfer での前向き比較検討 第41回日本マイクロサージャリー学会, 2014.12.5. 京都
- c) 全国学会
1. 吉田宗人：会長講演 脊椎脊髄病と私の synchronicity 第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4.京都
 2. 吉田宗人：Advancement from microendoscopic discectomy to posterior endoscopic decompression surgery over the past 15 years. Cross fire 3 Spine 第87回日本整形外科学会学術総会 神戸市 (2014.5) [Cross fire (英語ディベート)]
 3. 谷口泰徳、下江隆司、浅井宣樹、辻本修平、山中 学、吉田宗人：単純神経除圧術を行った肘部管症候群の再発例。第26回日本肘関節学会, 2014.2.28, 東京
 4. 谷口泰徳、下江隆司、浅井宣樹、辻本修平、吉田宗人：橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後に発生した長母指屈筋皮下断裂の3例。第57回日本形成外科学会総会・学術集会 2014.4.9、長崎
 5. 川上 守：脊椎外科臨床に基づく腰髄神経根性疼痛の基礎研究の再吟味。第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4.京都
 6. 川上 守、中尾慎一、石元優々、堀江佳代子、森下詔子、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎除圧固定術の腰椎機能障害の検討。第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4.京都
 7. 川上 守、中尾慎一、石元優々、北川智子、堀江佳代子、森下詔子、松岡淑子：腰椎除圧固定術で腰部脊柱管狭窄症患者の腰椎機能が改善するか？—JOABPEQ を用いた過去起点前向き研究。第87回日本整形外科学会総会, 2014.5.神戸
 8. 川上 守、石元優々、中尾慎一、北川智子、森下詔子、松岡淑子：腰椎除圧固定術を受けた腰部脊柱管狭窄症患者の矢状面アライメントと成績について。第23回日本インストゥメンテーション学会 2014.8 浜松市

9. 安藤宗治：脊髄機能モニタリングの有用性と pit fall. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会、京都、2014.4
10. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博、福井大輔、吉田宗人：脊椎手術における手術部位感染の検討—ステーブルとダーマボンドを用いた創閉鎖の比較—。第 43 回日本脊椎脊髄病学会、京都、2014.4
11. 安藤宗治、玉置哲也、玉井英伸、神埜聖治、福井大輔、坂田亮介、麻殖生和博、松本卓二、峠康、佐々木俊二、吉田宗人：脊椎手術における手術部位感染の検討—ステーブルとダーマボンドを用いた創閉鎖の比較—。第 87 回日本整形外科学会、神戸、2014.5
12. 安藤宗治、玉置哲也、峠 康、松本卓二、麻殖生和博：経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた脊髄機能モニタリングの問題点の検討。第 49 回日本脊髄障害医学会、旭川、2014.9
13. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、木岡雅彦、岡田紗枝：XLIF (eXtreme Lateral Interbody Fusion)による腰椎椎体間固定術の実際と導入初期の問題点について。第 4 回日本成人脊柱変形学会 2014.3.2 東京
14. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、岡田紗枝、寺口真年、籠谷良平、浅井宣樹、岩橋弘樹、曾根勝真弓、神藤一紀：XLIFによる腰椎椎体間固定術の実際と導入初期の問題点について。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.18 京都市
15. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、岡田紗枝、寺口真年、籠谷良平、浅井宣樹、岩橋弘樹、曾根勝真弓、神藤一紀、岡 敬之：腰椎椎間孔狭窄に対する脊椎内視鏡を用いた除圧単独・非固定手術の成績不良例の発生リスク。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.18 京都市
16. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋：XLIF + PPSによる腰椎変性後側弯症の変形矯正効果。第 23 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2014.8.29 浜松市
17. 橋爪洋、吉村典子、山田宏、石元優々、吉田宗人。腰部脊柱管狭窄（症）の疫学— The Wakayama Spine Study. 第 87 回日本整形外科学会総会、2014.5.22-25 神戸
18. 橋爪 洋、紺野慎一、竹下克志、福井 充、高橋和久、宮本雅史、松本守雄、笠井裕一、金森昌彦、松永俊二、細野 昇、寒竹 司、種市 洋、田中信弘、金山雅弘、清水敬親、川上 守。日本整形外科学会腰痛評価質問票 (JOABPEQ) 健常者基準値作成のための調査報告。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.17-19 京都市
19. 橋爪 洋、岡 敬之、宮崎展行、石元優々、長田圭司、籠谷良平、寺口正年、吉村典子、山田 宏、吉田宗人。ビデオ体操プログラムによるロコモ予防の取り組み。第 87 回日本整形外科学会総会、2014.5.22-25 神戸
20. Hashizume H, Yamada H, Oka H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M. Low back pain intensity in lumbar spinal stenosis measured by the Japanese Orthopaedic Association Score and the visual analogue scale. 第 87 回日本整形外科学会総会、2014.5.22-25 神戸
21. 橋爪 洋、山田 宏、岡 敬之、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、吉田宗人。JOA スコア腰痛得点のVASに対する基準関連妥当性の検証：腰部脊柱管狭窄症患者データを用いて。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.17-19 京都市
22. 松本 卓二 麻殖生和博 安藤 宗治：びまん性脊椎骨増殖症に合併した胸腰椎椎骨折における経皮的椎弓根スクリューを用いた脊椎後方固定術についての検討。第 49 回日本脊髄障害医学会、2014.9 旭川市
23. 松本 卓二、峠 康：びまん性脊椎骨増殖症に伴う胸腰椎椎骨折に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた低侵襲固定術の検討。第 40 回日本骨折治療学会、2014.6 熊本市
24. 松本 卓二、安藤 宗治、麻殖生 和博、峠 康、佐々木 俊二：生活習慣病である糖尿病における大腿骨近位部骨折のリスク 糖尿病患者における年齢、骨折型の検討と HbA1c および空腹時血糖の比較。第 87 回日本整形外科学会学術総会 2014.5, 神戸市
25. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪 洋、中川幸洋、西 秀人、岩崎博、筒井俊二、岡田紗枝：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績 - 不安定性有無別からの評価。第 43 回日本脊椎脊髄病学会、2014. 4. 17-19. 京都
26. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪 洋、中川幸洋、西 秀人、岩崎博、筒井俊二、岡田紗枝：不安定性を有する腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績。第 87 回日本整形外科学会学術総会。2014.5.22-25. 神戸
27. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人：頸椎性脊髄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績の検討。第 49 回日本脊髄障害医学会。2014. 9. 11-12. 旭川

28. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪 洋、中川幸洋、西 秀人、岩崎博、筒井俊二、岡田紗枝：「MEL すべり症・多椎間」不安定性を伴う腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績。第 17 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会。2014.11.28-29。神戸
29. 南出晃人：「ポスター19 椎間板 2」〈座長〉第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会。1 2014. 10.9-10。鹿児島
30. 中川幸洋、吉田宗人：頸部脊髄症に対する内視鏡下手術の適応と進歩。第 27 回日本内視鏡外科学会総会 2014.10.2-4、盛岡
31. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二：Debate 頸髄症 前方 v s 後方 頸髄症：後方派。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2014.4.17-19、京都
32. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 西秀人 岩崎博 筒井俊二 木岡雅彦：頸部脊髄症に対する後方内視鏡下手術 (CMEL)後に生じる C5 麻痺の原因と対策。第 87 回日本整形外科学会学術総会 2014.5.22-25、神戸
33. 西 秀人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、石元優々、木岡雅彦、瀧口登、籠谷良平、寺口真年、吉田宗人：RA 頸椎患者における周術期全身評価ならびに合併症の検討。第 43 回日本脊椎脊髄病学会、京都、20134 京都市
34. 北野陽二、佐々木貴英：皮膚壊死、臍融解をきたした小児マムシ咬傷の 1 例。第 57 回日本手外科学会学術集会、2014.4.沖縄
35. 北野陽二、中村正亨、平一裕：橈骨遠位端骨折に対する Acu-Loc2 の使用経験。第 40 回日本骨折治療学会、2014.6.熊本
36. 河合将紀、吉田宗人、野村和教、中村陽介、矢渡健一、中尾慎一、岡田基弘：腰部脊柱管狭窄症多椎間病変に対する両側同時内視鏡下椎弓切除術の中期成績。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2014.4.17-19、国立京都国際会館
37. 河合将紀、吉田宗人、野村和教、中村陽介、矢渡健一、中川智刀：馬尾性腰部脊柱管狭窄症の多椎間病変に対する隣接椎間同時片側進入両側除圧術。第 17 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会、2014.11.28-29、ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター
38. 岩崎博、吉田宗人、山田宏、岡敬之、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、筒井俊二：腰椎椎間孔外狭窄症診断における脊髄神経刺激末梢筋誘発電位の遠位潜時を用いた機能診断法の有用性。第 87 回日本整形外科学会、2014.5。神戸
39. 岩崎博、吉田宗人、山田宏、岡敬之、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、筒井俊二：腰椎椎間孔部狭窄症に対する電気生理学的機能診断法の有用性 -第 5 腰神経障害に対する選択的除圧のために-。日本脊椎脊髄病学会 第 43 回学術集会、2014.4。京都
40. 岩崎博、中川幸洋、宮崎展行、阿部唯一、宮本選、谷口隆哉、筒井俊二、吉田宗人：経頭蓋電気刺激筋誘発電位を用いた人工股関節置換術中神経機能モニタリング -アラームポイント設定に向けて-。第 44 回日本臨床神経生理学会学術大会、2014.11。福岡
41. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、筒井俊二、岡田紗枝、岩橋弘樹、吉田宗人：Extremelateral interbody fusion (XLIF)における術中神経モニタリングの有用性とその問題点 第 17 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会、2014.11。神戸
42. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、麻殖生和博、岡田基宏、中尾慎一、中村陽介、矢渡健一。脊椎内視鏡手術の適応の変遷について—単一施設で実施された 3,000 症例による検討—。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2014.4.17-19、京都市
43. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、中村陽介、矢渡健一、中川智刀。腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術が標準術式となった際に予想される手術患者の年齢分布。第 17 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会。2014.11.28-29、神戸市
44. 筒井俊二、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、河合将紀、岩崎博、吉田宗人：腰椎分離を伴う神経根障害の病態からみた内視鏡下除圧術の治療戦略。第 43 回日本脊椎脊髄病学会、2014. 4。京都市
45. 筒井俊二、岩崎博、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、吉田宗人：多連発刺激を用いた経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における振幅増大効果。第 43 回日本脊椎脊髄病学会、2014. 4。京都市
46. 宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 吉田宗人：JOA スコアおよび JHEQ は THA 術後満足度を反映するか？第 87 回日本整形外科学会学術総会。2014.5.22-25、神戸市
47. 宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 曾根勝真弓 吉田宗人：TKA において術前因子は術後満足度に影響するか？第 6 回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、2014.7.24-26、広島市
48. 宮崎展行 阿部唯一 宮本選 谷口隆哉 峰巨 曾根勝真弓 吉田宗人：人工股関節術後反復性脱臼に Dual mobility cup にて再置換を行った 2 例。第 41 回日本股関節学会。2014.10.31-11.1、東京
49. 高見正成、長田圭司、吉田宗人：Slot-scan digital radiography による正常日本人における脊椎矢状面アライメントの測定。第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、京都市、2014.04
50. 阿部唯一、岩崎 博、宮崎展行、谷口隆哉、峰巨、三宅悠介、曾根勝真弓、吉田宗人：術中モニタリングにより坐骨神経麻痺を回避できたと考えられた人工股関節再置換術の一例。第 44 回日本人工関節学会、2014.2。沖縄

51. 阿部唯一, 谷口 亘, 峰 巨, 山中学, 曾根勝真弓, 筒井俊二, 橋爪 洋, 山田 宏, 中塚映政, 吉田宗人: バクロフェンの脊髄運動ニューロンに対する興奮抑制メカニズム. 日本脊椎脊髄病学会, 2014.4. 京都
52. 阿部唯一, 宮崎隆行, 宮本選, 谷口隆哉, 峰巨, 佐々木貴英, 吉田宗人: 化膿性股関節炎との鑑別に難渋した, 腸腰筋滑液胞炎を伴った関節リウマチの一例. 第41回日本股関節学会学術集会, 2014.10.31-11.1. 東京
53. 中尾慎一, 川上 守, 石元優々: 第5腰椎脊髄神経椎間孔外病変に対する浅腓骨神経, 腓腹神経を利用した総合的評価. 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4. 京都
54. 谷口亘 西尾尚子 山中学 曾根勝真弓 阿部唯一 峰巨 筒井俊二 橋爪洋 山田宏 中塚映政 吉田宗人 ドパミン視床下部脊髄路は第3の下行性疼痛抑制系の作用を形成する 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.17-19, 京都
55. 谷口亘 山中学 西尾尚子 曾根勝真弓 阿部唯一 峰巨 筒井俊二 橋爪洋 山田宏 中塚映政 吉田宗人 情動中枢前帯状皮質の活性化は脊髄後角で直接痛みを増強する 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.17-19, 京都
56. 谷口亘 山中学 曾根勝真弓 阿部唯一 峰巨 筒井俊二 橋爪洋 山田宏 中塚映政 吉田宗人 前帯状皮質から脊髄後角に至る経路は下行性疼痛賦活系を形成する 第29回日本整形外科学会基礎学術集会, 2014.10.9, 鹿児島
57. 中村正亨, 北野陽二, 平一裕: 大腿骨転子部骨折におけるCTによる術後整復位の評価. 第40回日本骨折治療学会, 2014.6.熊本
58. 峰巨, 谷口亘, 阿部唯一, 山中学, 曾根勝真弓, 筒井俊二, 橋爪洋, 山田宏, 中塚映政, 吉田宗人: ニコチン性アセチルコリン受容体の脊髄運動前角細胞におけるシナプス制御機構の解析. 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.17-19, 京都
59. 石元優々 長田圭司 山田宏 橋爪洋 南出晃人 吉田宗人 村木重之 岡敬之 阿久根徹 吉村典子: 腰椎すべりの有病率とその腰痛・腰部脊柱管狭窄症の関係について: The Wakayama Spine Study. 第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014. 4. 京都市
60. 石元優々 川上守 中尾慎一 喜多彬 松岡淑子: 脊椎手術におけるJ-VAC ドレーン設置の注意点 -黒点に意味はない-. 第23回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2014.8.29 浜松市
61. 西山大介, 松崎交作, 山崎悟, 瀧口登, 原田悌志, 西井佑介: 80歳以上の高齢者に対するMIS人工股関節全置換術の検討. 第44回日本人工関節学会, 2014.2.21 沖縄
62. 西山大介, 松崎交作, 山崎悟, 瀧口登, 原田悌志, 西井佑介: two-incision人工股関節全置換術後早期合併症の検討. 第41回日本股関節学会学術集会, 2014.11.1 東京
63. 福井 大輔, 安藤 宗治, 峠 康, 松本 卓二, 麻殖生 和博, 坂田 亮介, 玉井 英伸, 佐々木 俊二: 当院におけるびまん性特発性骨増殖症に発症した脊椎骨折の治療戦略. 第43回日本脊椎脊髄病学会, 京都, 2014.4
64. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 舟状骨偽関節に伴う手根管症候群. 第57回日本手外科学会学術集会, 2014.4.17. 沖縄
65. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後に発生した長母指屈筋腱断裂の3例. 第57回日本手外科学会学術集会, 2014.4.18. 沖縄
66. 下江隆司, 土井一輝, 服部泰典, 坂本相哲, 小出聡美: 感染性広範囲手根骨欠損に対する遊離血管柄付き腸骨皮弁移植術の1例. 第41回日本マイクロサージャリー学会, 2014.12.5. 京都
67. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 柴田宏明, 川口智義: 骨軟部腫瘍術後再建に用いた西式TKRの成績. 第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2014.7, 大阪
68. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 宮脇城二, 川口智義: 膝周囲軟部肉腫に対するTKRの適応. 第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2014.7, 大阪
69. 岡田紗枝, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井俊二, 中尾 慎一, 岩橋弘樹, 吉田宗人: XLIFによる間接除圧の効果-MRI study-. 第17回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2014.11. 神戸
70. 岡田紗枝, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井俊二, 岩橋弘樹, 吉田宗人: 腰椎単純X線像からL5/S椎間孔部狭窄を予測するための画像診断サポートツールの作成. 第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014. 4. 京都市
71. 岡田紗枝, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井俊二, 岩橋弘樹, 吉田宗人: 腰椎単純X線像から予測するL5/S椎間孔部狭窄の画像診断サポートツール. 第87回日本整形外科学会, 2014.5. 神戸

72. 浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、山中学、辻本修平、吉田宗人：豆状骨三角骨間関節症により発生した小指屈筋腱皮下断裂の治療経験。第57回日本形成外科学会総会・学術集会 2014.4.9 長崎
73. 浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、山中学、辻本修平、吉田宗人：母趾IP 関節に発生した粘液嚢腫の1例。第57回日本形成外科学会総会・学術集会 2014.4.9 長崎
74. 浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人：豆状骨三角骨間関節症により発生した小指屈筋腱皮下断裂の治療経験。第57回日本手外科学会学術集会 2014.4.17 沖縄
75. 寺口真年、吉村典子、橋爪 洋、村木重之、山田 宏、岡 敬之、南出晃人、石元優々、長田圭司、阿久根 徹、吉田宗人：腰椎椎間板周囲の変化と腰痛の関係-The Wakayama Spine Study-. 第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4, 京都
76. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Akune T, Yoshida M: Atherosclerotic risk factors and intervertebral disc degeneration in the entire spine in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. 第87回日本整形外科学会学術総会, 2014.5, 神戸
77. 山中学、谷口亘、曾根勝真弓、阿部唯一、峰巨、筒井俊二、橋爪洋、山田宏、中塚映政、吉田宗人：脊髄後角の TRPA1/TRPM8 の活性化による痛覚伝達の変調-in vivo パッチクランプ法による解析-. 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.17-19, 京都
78. 山中学、谷口亘、曾根勝真弓、西尾尚子、清行康邦、中塚映政、吉田宗人：In vivo patch-clamp 法を用いた TRPA1/TRPM8 の脊髄後角での疼痛メカニズム. 第36回日本疼痛学会, 2014.06.20-21, 大阪
79. 山中学、谷口亘、曾根勝真弓、阿部唯一、峰巨、宮崎展行、筒井俊二、橋爪洋、山田宏、吉田宗人、中塚映政 脊髄後角における TRPA1/M8 の活性化がもたらす痛覚修飾 -in vivo patch-clamp 法による解析- 第29回日本整形外科学会基礎学術集会, 2014.10.10, 鹿児島
80. 山中学、谷口亘、曾根勝真弓、西尾尚子、清行康邦、中塚映政、吉田宗人：脊髄後角 TRPA1/TRPM8 の活性化による疼痛メカニズム-In vivo patch-clamp 法による解析-. 第7回日本運動器疼痛学会, 2014.10.25-26, 宇部
81. 山中学：術後再発したガングリオンの外科的治療法の検討. 第57回日本手外科学会学術集会, 2014.4. 沖縄
82. 岩橋弘樹、吉田宗人、山田宏、岡敬之、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二：VISTA 法と PROSET 法を用いた腰椎椎間孔部狭窄症の3次元MRI 読影所見と総合的な臨床診断の一致に関する比較検討. 第43回脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4, 京都
83. 岩橋弘樹、中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一、岡田紗枝：頸椎黄色靭帯石灰化症に対する後方内視鏡下除圧術. 第20回日本最小侵襲整形外科学会, 2014.11, 栃木
84. 曾根勝真弓、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、三宅悠介、岩橋弘樹、神藤一紀、吉田宗人：側臥位 THA における骨盤傾斜の傾向. 第44回日本人工関節学会, 2014.2. 沖縄
85. 曾根勝真弓、谷口亘、筒井俊二、山中学、西尾尚子、阿部唯一、峰巨、橋爪洋、山田宏、中塚映政、吉田宗人：アストロサイト由来伝達物質D-セリンは脊髄後角における痛覚情報を増強する. 第43回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4. 京都
86. 曾根勝真弓、谷口 亘、西尾尚子、山中学、阿部唯一、峰 巨、宮崎展行、筒井俊二、橋爪 洋、山田 宏、中塚映政、吉田宗人：TRPチャンネルを介した活性酸素種による脊髄後角における中枢性感作発症機序. 第29回日本整形外科学会基礎学術集会, 2014.10. 鹿児島
87. 曾根勝真弓、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、吉田宗人：人工股関節置換術の術後満足度に影響する因子の検討—術前後アンケート調査の結果から—。第41回日本股関節学会学術集会, 2014.11. 東京
88. 原田悌志、山崎悟、西山大介、瀧口登、西井佑介、松崎交作：肥満患者に対する MIS-THA の検討. 第44回日本人工関節学会, 2014.2
89. 原田悌志、山崎悟、西山大介、瀧口登、西井佑介、松崎交作：膝鏡視下手術後に致死性の肺血栓塞栓症を来した1例. 第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2014.7
90. 原田悌志、山崎悟、西山大介、瀧口登、山東茂樹、松崎交作：two-incision THA における combined anteversion の検討. 第41回日本股関節学会, 2014.10
91. 村上公英、山田 宏、筒井俊二、岩橋弘樹、吉田宗人：腰椎椎間孔内に生じた靭帯骨化により椎間孔部狭窄を来した症例に対する椎管内視鏡下手術の一例. 第20回日本最小侵襲整形外科学会, 2014.11. 栃木
92. 西尾尚子、谷口亘、山中学、曾根勝真弓、阿部唯一、峰巨、筒井俊二、橋爪洋、山田宏、中塚映政、吉田宗人：活性酸素種による脊髄後角 TRPA1, TRPV1 を介した興奮性シナプス伝達増強の作用機序. 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.17-19, 京都

93. 田中信弘、紺野慎一、竹下克志、川上 守、高橋和久、宮本雅史、松本守雄、笠井裕一、金森昌彦、松永俊二、細野 昇、寒竹 司、種市洋、橋爪 洋、金山野弘、清水敬親: 日本整形外科学会頸部脊髄症評価質問票 (JOACMEQ) 健常者基準値作成のための調査報告:第 43 回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4.京都
94. 森下詔子、田所真紀、北川智子、松岡淑子、堀江佳代子、石元優々、中尾慎一、川上 守: 和歌山県紀北地方の介護職、看護師の腰痛保有者に比較検討: 第 43 回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4.京都
95. 宮城正行、大鳥精司、石川哲大、鴨田博人、井上 玄、山内かづ代、折田純久、鈴木 都、佐久間洋浩、久保田 剛、及川泰宏、稲毛一秀、西能 健、佐藤 淳、川上 守、高橋和久: 椎間板性腰痛の基礎研究から導かれた新規薬物治療戦略: 第 43 回日本脊椎脊髄病学会, 2014.4. 京都
96. 峯玉賢和、川上守、中尾慎一、石元優々、福井大輔、北川智子、三宅隆広、左近奈菜、松岡淑子:腰部脊柱管狭窄症患者における仮面うつの特徴: 第 36 回日本疼痛学会 2014.6 大阪市
97. 宮城正行、井上 玄、内田健太郎、石川哲大、鴨田博人、佐久間洋浩、西能 健、川上 守、高橋和久、大鳥精司、高相晶士: 慢性椎間板性腰痛の本質研究から導かれた新規薬物治療の可能性: 第 22 回日本腰痛学会 2014.11 千葉市
98. 峯玉賢和、川上 守、中尾慎一、石元優々、福井大輔、北川智子、三宅隆広、左近奈々、松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法後、手術に移行する症例の特徴: 第 22 回日本腰痛学会 2014.11 千葉市
99. 北川智子、川上 守、中尾慎一、石元優々、森下詔子、松岡淑子: 腰椎疾患術前評価としての各種心理評価は患者満足度に影響しない: 第 22 回日本腰痛学会 2014.11 千葉市
100. 吉田隆紀、石元優々、中尾慎一、森下詔子、松岡淑子、北川智子、川上 守: 腰椎疾患患者における脳由来神経栄養因子の意義: 第 22 回日本腰痛学会 2014.11 千葉市
101. 森下詔子、堀江佳代子、石元優々、長田圭司、川上 守: 看護職の腰痛保有者における家族の影響について: 第 22 回日本腰痛学会 2014.11 千葉市
102. 小林 祥、松山 幸弘、川端 茂徳、安藤 宗治、寒竹 司、高橋 雅人、伊藤 全哉、村本 明生、藤原 靖、山田 圭、和田 簡一郎、木田 和伸、山本 直也、齋藤 貴徳、谷 俊一、日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ: 術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会、京都、2014.4
103. 伊藤 全哉、松山 幸弘、寒竹 司、川端 茂徳、安藤 宗治、齋藤 貴徳、小林 祥、藤原 靖、山田 圭、山本 直也、谷 俊一: 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術において術後麻痺を防ぐには? 全国多施設調査. 第 87 回日本整形外科学会、神戸、2014.5
104. 小林 祥、松山 幸弘、川端 茂徳、安藤 宗治、寒竹 司、村本 明生、木田 和伸、和田 簡一郎、山本 直也、齋藤 貴徳、谷 俊一: 麻痺患者における術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングWG 研究. 第 87 回日本整形外科学会、神戸、2014.5
105. 小林 祥、松山 幸弘、川端 茂徳、安藤 宗治、藤原 靖、伊藤 全哉、山田 圭、高橋 雅人、山本 直也、齋藤 貴徳、谷 俊一: 術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設研究. 第 87 回日本整形外科学会、神戸、2014.5
106. 中村陽介、河合将紀、吉田宗人、野村和教、矢渡健一: 多椎間病変を有す腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎内視鏡下タンデム手術の短期成績. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.17-19, 国立京都国際会館

d) 地方学会

1. 谷口泰徳、下江隆司、浅井宣樹、山中 学、吉田宗人: 膠原病に合併したキーンバック病の治療. 第 123 回中部日本整形・災害外科学会・学術集会 2014.10.3、名古屋市
2. 山田 宏、吉田宗人、筒井俊二、岩崎 博、岡田紗枝、岩橋弘樹: XLIF (eXtreme Lateral Interbody Fusion)による腰椎椎体間固定術の実導入初期の問題点. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会, 2014. 4.11, 岡山市
3. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人: 成人脊柱変形に対する XLIF+PPS の矯正効果. 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会, 2014. 10.3, 名古屋市

4. 南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 岩崎博: 不安定性を有する腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2014. 4.11-12.岡山
5. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 河合将紀: 当科における脊椎内視鏡インシデント報告. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2014. 4.11-12、岡山市
6. 中川幸洋: 強直性脊椎骨増殖症 (DISH) を合併した OPLL 手術後に生じた脊椎骨折について. 厚生労働省科学研究 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 平成 26 年度班会議 2014.11.29、東京
7. 北野陽二: 鎖骨骨幹部骨折に対する Variax Clavicle Locking Plate system の使用経験. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2014.4.岡山
8. 岩崎 博, 宮崎展行, 阿部唯一, 谷口隆哉, 峰巨, 吉田宗人: 経頭蓋電気刺激筋誘発電位を用いた人工股関節置換術中神経モニタリングの注意点 ― 整復前後における振幅変化に関して ―. 中部日本整形外科災害外科学会 第 122 回学術集会, 2014.4. 岡山
9. 岩崎博, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋: 第 5 腰神経重複病変(double lesion)に対する脊椎内視鏡を用いた同時進行手術 (tandem operation). 中部日本整形外科災害外科学会 第 123 回学術集会. 2014.10. 名古屋
10. 宮崎展行 阿部唯一 宮本選 谷口隆哉 峰巨 吉田宗人: TKA における術前疼痛は術後疼痛に反映するか― 両側 TKA での検討. 第 123 回中部・日本整形外科災害外科学会, 2014.10.4, 名古屋市
11. 高見正成, 金川建彦, 長田圭司, 北野岳史, 辻本修平: 腰椎分離すべり症に伴う椎間孔内遊離骨化病変に対し鏡視下手術で対応した 1 例. 和歌山 MIOS 研究会, 和歌山市, 2014.01
12. 高見正成, 金川建彦, 長田圭司, 北野岳史, 辻本修平. 帯状疱疹に合併した C6 神経根由来上肢運動麻痺の 1 例. 和歌山県整形外科医会学術集会, 和歌山市, 2014.03
13. 中尾慎一, 川上 守, 石元優々: 脊椎内視鏡手術の成績不良例に対する再手術の検討. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2014.4 岡山
14. 中村正亨: 大腿骨転子部骨折における CT による術後整復位の評価. 和歌山整形外科医会第 24 回学術集会, 2014.2.和歌山
15. 石元優々 川上守 中尾慎一 北川智子 森下詔子 松岡淑子: 術前の各種心理評価は腰椎術後成績に影響するの? 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会, 2014. 10.3, 名古屋市
16. 石元優々 川上守 中尾慎一 長田圭司: 腰部脊柱間狭窄症に合併した腰椎硬膜内に発生した Endodermal cyst の一例. 第 444 回整形外科集談会 京阪神地方会 2014.7 大阪市
17. 石元優々, 川上 守, 福井大輔, 中尾慎一: MED 術後に発生した Pelvic Insufficiency Fracture の 1 例: 第 24 回和歌山県整形外科医会 2014.2 和歌山市
18. 北野岳史, 金川建彦, 長田圭司, 辻本修平, 高見正成: 大腿骨近位部に病的骨折を生じた McCune-Albright 症候群の治療経験. 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2014. 10. 名古屋
19. 西山大介, 松崎交作, 山崎悟, 瀧口登, 原田悌志, 西井佑介: 単純スライス CT を用いた大腿骨前捻角測定に関する補正式の検討. 第 24 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2014.2.15 和歌山
20. 西山大介, 松崎交作, 山崎悟, 瀧口登, 原田悌志, 西井佑介: 人工股関節全置換術後の歩行能力回復に影響を及ぼす因子の検討. 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会, 2014.10.4 名古屋
21. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 伴走静脈による肘部管症候群の 1 例. 第 106 回関西形成外科学会学術集会, 2014.3.1. 大阪
22. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞: PET/CT により偶発的に指摘された骨軟部腫瘍. 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2014.10, 名古屋
23. 岡田紗枝, 中川幸洋, 南出晃人, 筒井俊二, 吉田宗人: 外傷後に発生した巨大髄膜嚢腫の一例. 第 444 回整形外科集談会 京阪神地方会 2014.7 大阪市
24. 岡田紗枝, 中川幸洋, 南出晃人, 吉田宗人: 外傷後に起こった巨大髄膜嚢腫の 1 例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7.和歌山
25. 中村憲太, 中谷如希: 高度な骨粗鬆症患者に生じた上腕骨内顆骨折の一例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7. 和歌山
26. 山中 学: 術後再発したガングリオンの外科的治療法の検討. 第 24 回和歌山県整形外科医会, 2014.2. 和歌山市

27. 山中 学 : In vivo patch-clamp 法を用いた TRPA1/TRPM8 の脊髄後角での疼痛メカニズム. 痛みを語る会, 2014.6. 久留米
28. 前田孝浩, 石口 明, 三宅悠介, 井口智揮, 納田和博, 寺尾賢秀 : 頸椎硬膜外血腫に対して保存的加療が奏功した 2 例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
29. 佐々木貴英, 谷口隆哉, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 岩崎 博, 筒井俊二, 峰 巨, 曾根勝真弓, 吉田宗人, 南 晋司, 三宅悠介 : 大転子高位股に対して術中モニタリング併用下に人工股関節置換術を施工した 3 例の検討. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
30. 岩橋弘樹, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 西秀人, 南出晃人, 岩崎博, 筒井俊二, 吉田宗人 : 頸椎椎弓形成術後隣接椎間障害に伴う椎間孔部狭窄に対し内視鏡下後方椎間孔拡大術を行った 1 例. 第 24 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2014, 和歌山
31. 岩橋弘樹, 山田 宏, 岩崎博, 出口剛士, 吉田宗人 : 脊髄空洞症を伴うキアリ I 型奇形に対する大後頭孔減圧術後に急性閉塞性水頭症を来した 1 例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
32. 井口智揮, 石口 明, 納田和博, 三宅悠介, 籠谷良平, 前田孝浩, 寺尾賢秀, 窪田誠治 : 椎弓根骨折を伴った腰椎分離すべり症の 1 例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
33. 曾根勝真弓, 岩崎 博, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 谷口隆哉, 峰 巨, 神藤一紀, 吉田宗人 : 人工股関節置換術中に経頭蓋電気刺激筋誘発電位の振幅低下を認めた 2 例. 中部整形外科災害外科学会 第 443 回整形外科集談会 京阪神地方会, 2014.2. 大阪
34. 曾根勝真弓, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 谷口隆哉, 神藤一紀, 吉田宗人 : THA における術前期待度と術後満足度. 和歌山県整形外科医会, 2014.2. 和歌山
35. 曾根勝真弓, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 谷口隆哉, 峰 巨, 岩橋弘樹, 神藤一紀, 吉田宗人 : 成人化膿性股関節炎に対する二期的人工股関節置換術の経験. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
36. 原田悌志, 山崎 悟, 西山大介, 瀧口 登, 西井佑介, 松崎交作, 船岡信彦 : Charcot 膝関節に対する人工膝関節全置換術の経験. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
37. 玉井 英伸, 松本 卓二, 安藤 宗治, 坂田 亮介, 佐々木 俊二 : アルカプトン尿症性関節炎を伴った脊椎症の一例. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会, 2014.4 岡山市
38. 玉井英伸, 安藤宗治, 松本卓二, 麻殖生和博, 峠 康, 坂田亮介, 福井大輔, 佐々木俊二 : 頸椎黄色靭帯骨化症の 2 例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
39. 神藤一紀, 谷口泰徳, 下江隆司, 浅井宣樹, 吉田宗人 : 特発性後骨間神経麻痺に対して腱移行術を施行した一例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
40. 西井佑介, 西山大介, 原田悌志, 瀧口登, 山崎悟, 松崎交作 : 橈骨頭骨折に対して人工橈骨頭置換術を施行した 2 症例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7. 和歌山
41. 西井佑介, 原田悌志, 瀧口登, 西山大介, 山崎悟, 松崎交作, 岡田基宏 : L4 椎体圧迫骨折偽関節を併発した腰部脊柱管狭窄症に対し Balloon kyphoplasty と内視鏡下椎弓切除術を行った一例. 第 11 回和歌山 MIOS フォーラム, 2014.1.18. 和歌山
42. 西井佑介, 西山大介, 原田悌志, 瀧口登, 山崎悟, 松崎交作 : 第三骨片を有する踵骨嘴状骨折に対して観血的整復内固定術を行った 1 例. 第 122 回中部日本整形外科災害外科学会, 2014.4. 岡山
43. 村上公英, 岡田基宏, 橋本忠晃, 吉田宗人, 加藤正哉 : 腰椎硬膜外ブロック注射後、細菌性脊髄炎を発症した一例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
44. 村上公英, 山田 宏, 筒井俊二, 岩崎 博, 岩橋弘樹, 吉田宗人, 宇野耕吉 : 前方後方同時矯正手術を実施した先天性後弯症の一例. 第 42 回脊椎外科を学ぶ会, 2014.9. 大阪
45. 山川量平, 峰 巨, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 谷口隆哉, 曾根勝真弓, 神藤一紀, 吉田宗人 : 二分脊椎症の患者に発生した難治性骨盤内・大腿部膿瘍の一例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
46. 西岡修平, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本 選, 谷口隆哉, 峰 巨, 曾根勝真弓, 新藤一紀, 吉田宗人, 佐々木俊二 : CPPD 沈着性股関節炎の一例. 第 82 回和歌山医学会総会, 2014.7, 和歌山
47. 喜多 彬, 川上 守, 中尾慎一, 石元優々 : 脊椎手術後血腫症例の経験からわかった J-VAC® ドレーン設置の注意点 ～黒点に意味はない～ : 第 443 回整形外科集談会 京阪神地方会 2014.2 大阪市

48. 吉田隆紀、中尾慎一、石元優々、川上 守: 脊椎疾患における脳由来神経栄養因子と多面的評価の関連性について: 第 122 回中部整災会,2014.4.岡山.
49. 北川智子、川上 守、中尾慎一、石元優々、森下詳子、堀江佳代子: 腰椎手術患者の術前心理評価に何が必要か?: 第 122 回中部整災会,2014.4.岡山
50. 森下詔子、石元優々、中尾慎一、川上 守: 看護師の腰痛保有者における家族の影響について: 第 82 回和歌山医学会総会 2014.7 和歌山市
51. 森下詔子、田中治美、松岡淑子、石元優々、川上 守: ウォーターレス法は脊椎手術の術後感染に影響するか?:第 123 回中部整災会、2014.10.名古屋市

e) その他(研究会等)

(受賞)

橋爪 洋. 平成 26 年度運動器の 10 年・世界運動普及推進事業「運動器の 10 年・優秀賞」、受身から攻めへの発転換：ロコモ子防の取り組みは住民の受療行動を変化させるか？

1. 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二: 脊椎内視鏡手術, 股関節鏡, 手関節鏡実習. 脊椎内視鏡 cadaver seminar 2014 2014.1 和歌山県立医科大学整形外科学教室
2. 吉田宗人, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 佐藤公治, 八木省次: 腰椎模型を用いた脊椎後方内視鏡手術実習. 第 5 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2014.6
3. 吉田宗人: ラジオ「痛い・痛い・飛んでけ!」 和歌山放送 月 1 回放送
4. 吉田宗人: 監修・解説: MSD 整形外科ビデオライブラリー「脊椎内視鏡下手術の進歩と展望」 2014.7
5. 檀上茂人、小島博嗣、直川裕樹、久保井勇樹、山東香苗: はね指手術例の検討 ～手術台帳から～第 46 回和歌山県医師会医学会総会、2014.11. 和歌山
6. 岡安 勤: 脳性麻痺および頭部外傷後遺症・脳炎後遺症の上肢に対する装具療法. 第 31 回日本脳性麻痺の外科研究会, 2014.10. 広島市
7. 山田 宏 監修: 腰椎椎間孔部狭窄に対する内視鏡手術. MIOS 整形外科最小侵襲手術手技シリーズ 2 (手術ビデオ)
8. 山田 宏: わかやま医療ナビ 腰曲がりの新治療 2014.11.2 テレビ和歌山放送 (テレビ放送)
9. 増田研一, 岡井和久, 磯部一樹, 丹羽勝久: 『機能的』テーピングの試み ～動揺性制御とバランス能維持を尺度とした検討～. 第 24 回関西臨床スポーツ医・科学研究会, 2014.6. 大阪
10. 増田研一: フットサルチームのメディカルサポート/スポーツ外傷について. 第 3 回びわこスポーツカンファレンス, 2014.5. 滋賀
11. 南出晃人: 第 5 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2012. 6. 22-23. 和歌山
12. 中川幸洋: 脊椎内視鏡手術コース・技術講習. 第 12 回脊椎脊髄病研修コース 2014.4.19、京都
13. 中川幸洋: 第 5 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2014.6.21 和歌山市
14. 西 秀人: 関節リウマチの診断と治療. 河北整形外科カンファレンス 2014.3.15. 和歌山市
15. 西 秀人: 関節リウマチの診断と治療. 第 3 回若手整形外科疼痛研究会 2014.8.2. 和歌山市
16. 西 秀人: 教えてロコモ～寝たきりにならないために「腰痛の見方・考え方」. 市民公開講座 運動器の 10 年・骨と関節の日 2014.7.5. 和歌山市
17. 河合将紀: PED system : 器械と基本手技、pitfall, カダバセミナー2013, 2014. 1. 25, 和歌山市
18. 河合将紀: 脊椎内視鏡下手術の実際, 島根大学医学部整形外科学教室講演会, 2014.5.14, 出雲市
19. 河合将紀: 内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (MED) ライブサージェリー, 第 5 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 2014.6.20-21, 和歌山市
20. 河合将紀: 脊椎変性疾患に対する脊椎内視鏡手術の最先端, 第 2 回 St.Luke's Orthopaedic Seminar, 2014.7.3, 聖路加国際病院トイスラー記念ホール, 東京

21. 筒井俊二、岩崎博、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、吉田宗人：術中経頭蓋電気刺激複合筋活動電位に反映される運動単位の定量化. 第35回脊髄機能診断研究会、2014.2. 東京
22. 宮崎展行、阿部唯一、宮本選、谷口隆哉、峰巨、三宅悠介、曾根勝真弓、吉田宗人：和歌山医大におけるTHA術中安定性に対する考え方. 第7回OHMU50研究会. 2014.8. 30, 大阪市
23. 宮崎展行：患者満足度からみたTKAに求められるもの. 第86回かきねの会. 2014.4.5. 那智勝浦町
24. 高見正成：後縦帯骨化症 ～病気の理解と日常生活の注意点について～. 平成26年度難病患者医療相談事業 新宮保健所申本支部、2014.7.18 新宮市
25. 延與良夫：脊椎脊髄疾患における診断のpitfallと最新治療. 第2回有田・御坊地区整形外科病診連携、2014.6. 御坊市
26. 延與良夫：腰椎変性側弯の病態と自然経過～Literature review～. 第30回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム、2014.6. 和歌山市
27. 延與良夫：骨粗鬆症の薬物治療について. 日高・有田地区病院薬剤師研究会 第54回学術研修会 2014.8. 御坊市
28. 阿部唯一、峰巨、山中学、曾根勝真弓、宮崎展行、吉田宗人、谷口亘、西尾尚子、中塚映政：脊髄前角細胞におけるバクロフェンの抗痙縮メカニズム –patch-clamp法による解析–. 第35回脊髄機能診断研究会. 2014.2 東京
29. 阿部唯一、中根康博：治療に難渋した、肩峰骨折偽関節による反復性肩関節脱臼. 肩と肘を語る会、2014.7.19. 奈良
30. 南 貴雄：和歌山県サッカー協会の取り組み～ケガの予防のために～. 日本整形外科スポーツ医学会 大学生、高校生のためのスポーツ医学生セミナー 2014.8.24 東京
31. 下江隆司、谷口泰徳、浅井宣樹、吉田宗人：神経内ガングリオンによる足根管症候群の1例. 第11回和歌山MIOSフォーラム、2014.1.18. 和歌山
32. 下江隆司、谷口泰徳、浅井宣樹、辻本修平、吉田宗人：橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後に発生した長母指屈筋腱皮下断裂の3例. 第31回中部日本手外科研究会、2014.2.8. 下関
33. 下江隆司、谷口泰徳、浅井宣樹、吉田宗人：舟状骨偽関節に伴う手根管症候群. 第24回和歌山県整形外科医会、2014.2.15. 和歌山
34. Kanno, S; Matumoto, S; Shimoji, T; Ae, K; Tanizawa, T; Gokita, Tabu.; Miyawaki, J.; Shibata, H.; Sasaki, T.; Takemura, M.; Motoi, N.; Kanda, H.; Machinami, R : A 17-Year-Old Female, Osteosarcoma of the Left proximal Femur. 26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal. Sarcoma (SSMS), 2014.3, Tokyo
35. 浅井宣樹、筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、吉田宗人、吉村典子、岡敬之：加齢性変化に伴う脊柱矢状面アライメントの検討. 第4回日本成人脊柱変形学会 2014.3.2
36. 浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人：末梢神経針刺し損傷の検討. 第106回関西形成外科学会学術集会 2014.3.1. 大阪
37. 平一裕：当院における下肢開放骨折治療の現状と問題点. 第3回和歌山創傷治療を考える会、2014.12.和歌山
38. 山中学：脊髄後角TRPA1/TRPM8活性化による抗侵害性作用-in vivo patch-clamp法を用いた解析. 和歌山TRP研究会、2014.11. 和歌山市
39. 曾根勝真弓、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、佐々木貴英、神藤一紀、吉田宗人：THA術中寛骨臼骨折に対する再置換の一例. 第6回セメントヒップ関西、2014.9. 大阪
40. 原田悌志、西山大介、山崎悟、瀧口登、西井佑介、松崎交作：電磁場位置計測システムを用いた長管骨髄内釘手術の経験. 第11回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム、2014.1
41. 原田悌志、西山大介、山崎悟、瀧口登、西井佑介、松崎交作：Charcot 膝関節に対する人工膝関節全置換術の経験. 第82回和歌山医学会総会、2014.7
42. 西尾尚子、谷口亘、三宅悠介、清行康邦、山中学、曾根勝真弓、阿部唯一、瀧口登、吉田宗人、中塚映政. ラット脊髄膠様質ニューロンの興奮性シナプス伝達に及ぼすCGRPの作用. 第35回脊髄機能診断研究会、2014.02.1, 東京

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人：脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 課題番号：H26-難治一般-038

2. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人：膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート(LOCOMO)スタディの追跡 課題番号：H25-長寿一般-007
3. 平成 26 年受託研究 (和医大総第 B-26005 号) 吉田宗人：和歌山県高齢者運動器疾患予防対策事業
4. 平成 26 年ふくしま医療福祉機器開発事業費補助券事業による国産脊椎内視鏡開発 プロジェクト共同研究 (株式会社 JIMURO) 吉田宗人：日本人医師の手技に適した脊椎外科手術用内視鏡システムの開発
5. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 川上 守：椎間板変性モデルを用いた腰痛治療法の確立
6. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 山田 宏：地域住民コホート研究による腰部脊柱管狭窄症の自然経過の解明
7. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 橋爪 洋：サルコペニアと脊椎アライメント変化に着目した運動機能低下診断・予測ソールの開発
8. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 中川幸洋：脊椎脊髄手術時の神経機能モニタリングにおける新しい大脳刺激法の開発
9. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 中塚映政：ソマトスタチンが関与する脊髄電気刺激療法メカニズムの解明
10. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 岩崎 博：低侵襲脊椎手術実現のための新しい機能診断方法の開発
11. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 筒井俊二：脊髄後角における顆粒球コロニー刺激因子がもたらす鎮痛作用メカニズムの解明
12. 平成 26 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 代表研究者 谷口亘：前帯状皮質活性化が脊髄後角に下行性疼痛賦活系を形成するメカニズムの解析
13. 平成 26 年度科学研究費補助金 (若手研究(B)) 代表研究者 山中 学：TRPA1/M8 は脊髄で痛みを増強する in-vivo パッチクランプ法による解析
14. 平成 26 年度科学研究費補助金 (若手研究(B)) 代表研究者 寺口真年：住民コホート研究の追跡調査による脊椎退行性変化の危険因子と頸部痛・腰痛の解明
15. 平成 26 年度科学研究費補助金 (若手研究(B)) 代表研究者 籠谷良平：びまん性特発性骨増殖症の予後と脊椎椎体骨折との関連：住民コホートの追跡
16. 平成 26 年 公益財団法人骨粗鬆症財団 研究助成(助成番号 N038) 中尾慎一：脊椎固定術に対するテリパラチド週 1 回投与製剤の QOL、骨量、骨質の改善効果の検討
17. 財団法人 整形災害外科学研究助成財団 研究助成 谷口亘： TRPA1 チャネルを介した活性酸素種による脊髄後角ニューロンの過剰興奮が難治性脊髄中枢性疼痛を惹起する—in vivo パッチクランプ法を用いた解析—
18. AO Spine 2015 Japan Research Grant 石元優々：100 万円
19. 和歌山県立医科大学 若手研究支援助成 寺口真年：機能的核磁気共鳴画像による新しい脊髄機能イメージング法の応用